

挑戦の夏が始まる

未来子ども協議会による アドベンチャーツーリング



アドベンチャーツーリングの目的を再確認(上)
グループ分けなどについて話し合う(左)

第1回目の活動は6月8日。アドベンチャーツーリングの趣旨についてスタッフから説明があったほか、子どもたちが自己紹介を交えた仲間づくりのゲームを行いました。その後、グループ分けと体験活動の内容を決定。子どもたちからは、海釣りや海水浴などに挑戦したいという意見が出されました。

2回目は6月29日。ツーリングのスタート地点やコースを決めました。今月は19日〜20日に町内で、キャンプとツーリングの練習を行います。

弟子屈町未来子ども協議会(目黒厚子会長)主催の「元気いっぱい〜ほぐらの旅!」アドベンチャーツーリング2013への取り組みが始まりました。

同会は、子どもたちの健やかな成長を地域で支えようと、さまざまな取り組みを行っている会です。アドベンチャーツーリングは、子どもたちがたくましく育ち「人間力」を養えるようにと企画しているもので、今年で3回目。今回は、小学校1〜5年生11人が集まりました。

今年は8月6日から11日にかけての5泊6日で、テント泊をしながらの自転車旅に挑戦します。その前に4回にわたる事前活動があり、ツーリングのコースや食事の計画、体験活動の内容なども子どもたちで決めていきます。12月には、活動全体の振り返りも行います。



聴衆を前に持論を展開する藻谷氏

まちの観光と農業を考える

日本総合研究所の藻谷浩介氏が講演

町では5月31日「弟子屈町の観光と農業の今後の戦略」と題した講演会と公開ディスカッションを弟子屈町公民館で開催しました。

本町の基幹産業である観光と農業の振興について探る目的で開催したもので、約120人が参加。ベストセラー『デフレの正体』の著者として知られる日本総合研究所調査部首席研究員の藻谷浩介氏を講師に迎え、顧客満足度・質・付加価値などをキーワードとした今後の観光の在り方などについて講演していただきました。



左から山田氏、藻谷氏、柏木氏、木暮氏、豊島氏

ISS代表、パネリストに藻谷氏、観光政策課長光政、柏木隆久氏、木暮敏男氏、摩周湖観光協会長、豊島洋樹、農協理事を代表、今後の産業振興について議論。参加者の皆さんも熱心に聴き入っていました。

町の話



町の話



湯の島自治会と役場管理職会の植栽

花いっぱいのに

各地域で植栽活動



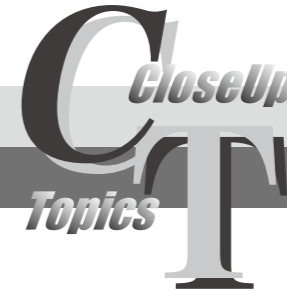
フラワーマスター協会の花壇整備

6月15日には、湯の島自治会と役場管理職会の皆さんが連携して、摩周温泉公園に2千株の花の苗を植えました。皆さんが利用する公園をきれいにしたいと毎年行っているもので、約50人が参加。あいにくの大雨の中、ベチュニアやマリーゴールドなどを手分けして植えました。

6月16日には、日の出自治会の皆さんが、国道391号から摩周駅前に向かう交差点のロータリーで花壇への植栽を行いました。毎年この時期に行っているもので、約20人が参加。日差しも強く汗ばむ陽気の中、ベゴニアやマリーゴールドなどを丁寧に植えました。

日の出自治会の植栽

町の話



町の話



乳牛の部の審査

自慢の牛馬を競い合う

第61回弟子屈町家畜共進会



馬の部は走りも確認

町とJA摩周湖共催の第61回弟子屈町家畜共進会が6月7日、弟子屈町家畜共進会場で行われ、乳牛の部に7戸の酪農家から31頭が、馬の部には7戸の馬産農家から7頭が出陳されました。

はじめに家畜共進会会長の徳永町長が「1年を通して生き物と共に農業を営んでいることに敬意を表する」とあいさつ。乳牛の部では小さな子牛から立派な親牛まで、さまざまな牛が観客を魅了しました。馬の部では、大きな馬体を畜主が自在に操り、古くから伝わる人と馬とのつながりを感じさせました。昼食時には観客も含めて全員で焼き肉を囲むなど、和やかに競技が進行しました。

■乳牛の部
▽ブランドチャンピオン/メドープリッジ アドベント ハートライン(高橋和憲さん所有)▽リザンブチャンピオン/インレットグリーン メイン ダイアナ(江上和彦さん所有)▽ジュニアグランドチャンピオン/ハッピーランド セント ゴールドロイ(吉田雄貴さん所有)▽ジュニアリザンブチャンピオン/グリークエスト RO ブレイクドレーク(坪井秀明さん所有)

■馬の部
▽最優秀賞/パルサ姫(長谷川義信さん所有)